

## 構想対象市町村の組合せパターンの検討(案)及び論点

### 検討その1

※本県の市町村の状況を勘案すると最優先に検討すべき課題

- 「おおむね人口一万人未満の小規模な町村」の解消をめざす組合せ

### 検討その2

- 生活圏域を踏まえた行政区画の形成を図ることが望ましい組合せ
- 更に充実した行政権能等を有する特例市等をめざす組合せ

### 【組合せを検討するにあたり考慮すべき事項】

- 生活圏域
- 地理的条件、人口密度
- 旧法の下での市町村合併（協議）を行った経緯
- 市町村の意向
- 歴史的なつながり
- 行政事務の共同処理の状況等
- 更に充実した行政権能を有する特例市等の形成

### 論 点

- ① 小規模な町村の解消についての検討を優先させることについてどのように考えるか。
- ② 現時点で、合併の意向がない市町村を構想対象市町村とする組合せも想定されるがどのように考えていけばよいか。